

総合型地域スポーツクラブとの連携 ～地域とともに生涯にわたったスポーツ活動を目指して～

岡山県
岡山市立上南中学校
全校生徒数175名
(男子97名 女子78名)
電話番号 086 (948) 3403

実践内容

実施目的

- ①生涯にわたって、体育・スポーツに親しむ生徒を育てる。
- ②学校での授業においては、基礎的・基本的な体力・運動能力を養い、将来いろいろな種目に対応できる体づくりを図る。
- ③地区住民の主体的組織である上南総合スポーツクラブ（総合型地域スポーツクラブ）において継続的にスポーツ活動ができる環境づくりやコミュニケーションづくりにかかわることで、生涯を通じて運動・スポーツを行う態度を身に付ける。

実施内容

1 学校の取組

(1) 生徒への働きかけ

①保健体育授業での体づくり運動の充実

体ほぐしの運動やバランスのとれた体幹づくりを意識した、体力を高める運動等、体づくり運動をバランスよく取り入れた授業づくりを行う。

②体力向上についての意識化

新体力テストの記録等から、今の自己の体力を理解させ、体力向上を意識させる。

(2) 地域への働きかけ

①学区の体育的行事の中に、中学生が出場することのできる種目等が多く設定されていることから、地域と連携して生徒に対して参加への積極的な働きかけを行う。

②学校支援ボランティアを募集し、開かれた学校として地域との密着を図る。

2 地域との連携

(1) 指導者の充実

①学校の運動部の数は少ないものの、卒業生や地域から学校支援ボランティアとして、多くの指導者に登録・指導していただき、充実した部活動の指導ができています。

(2) 上南総合スポーツクラブとの連携

①地域の小学生から大人までが、本校の部活動が終わったあとの学校施設を利用し活動している。現在6種目（バレー、バスケットボール、バドミントン、フットサル、卓球、空手）を日替わりで実施している。

②中学生の中には、本校の部活動種目にはないフットサルや卓球に所属している者もあり、部活動数の少なさを補っている面もある。

③小学校や中学校を卒業した後も、クラブでの活動を継続している者も多い。

④クラブは地区の元育成協議会会長が代表者として自主的に運営しており、地域・学校をよく知っている方々が運営の中心を担っている。また、小学校区の体育協会とも連携し、部活動後も体調に合わせて参加できる等参加しやすい環境づくりに努めている。

実施上で工夫したこと

- ①基礎体力の向上を意識させ、継続的にいろいろな種目に取り組むように呼びかけた。
- ②部活動に携わってくれる学校支援ボランティアを常時受け入れた。
- ③上南スポーツクラブで活動してきた小学生が、中学校に入学してきたときに、技能面だけでなく基礎体力向上の大切さについても理解させ、継続的に運動をする意欲をもたせた。
- ④地域の体育的行事には、部活動計画を調整し、中学生が参加しやすくした。

主な成果

- ①運動部活動の加入率は80%である。アンケート結果でも体力をつける努力をしている生徒は75%もあり、運動への興味関心は高く体力向上を意識する生徒が増えた。
- ②新体力テストの結果を見ても、3年間で比較的バランスよく8項目の記録が伸びている。
- ③野球部1人、バスケットボール部4人、バレーボール部12人の卒業生や地域の方が、外部コーチとして部活動の指導に参加している。年々学校にかかわってくれる地域の方が増えており、上南総合スポーツクラブの活動も定着してきている。



上南総合スポーツクラブ①

バドミントンの練習風景



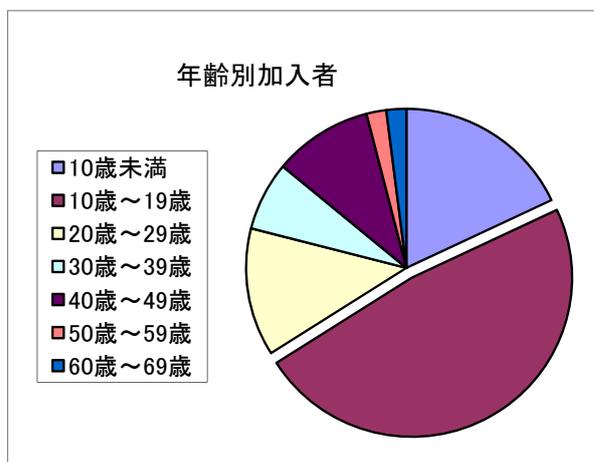
上南総合スポーツクラブ②

フットサルの練習風景



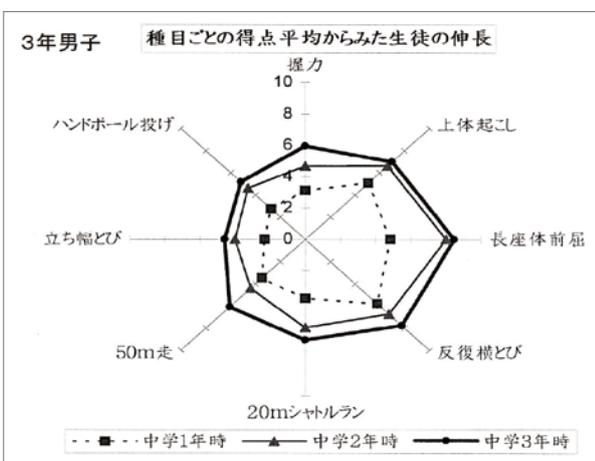
体づくり運動の授業

声をかけ合いながら楽しく活動



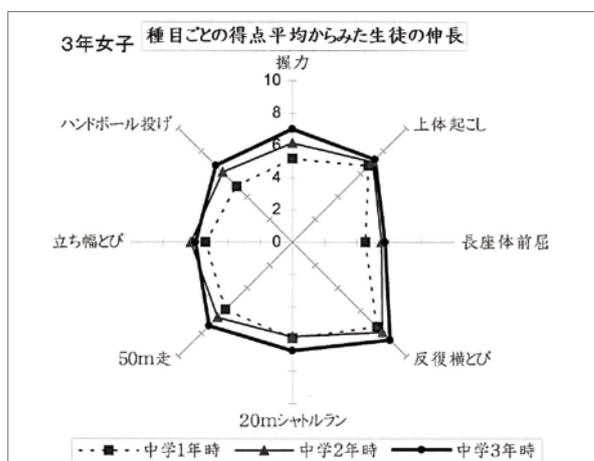
上南総合スポーツクラブ年齢層

10代が多く高齢者の参加は少ない



新体力テストの結果(男子)

円に近い3年間の成長



新体力テストの結果(女子)

いびつではあるが円を目指した3年間の成長